

# 平成 30 年度 第4回東御市総合教育会議 会議録

---

## 1 日 時

---

平成 31 年(2019 年)3月 15 日(金) 午後3時 00 分から4時 30 分まで

## 2 場 所

---

公室

## 3 協 議

---

(1)東御市教育大綱、東御市基本計画について

## 4 議 題

---

(1)学校における ICT 環境整備について

## 5 出席者

---

○市 長                      花 岡 利 夫

○教育長                    小 山 隆 文

○委 員

教育長職務代理者      下 村 征 子

委                      員      小 林 経 明

委                      員      小 林 利 佳

委                      員      直 井 良 一

○その他

横関教育次長、柳沢教育課長、小林学校教育係長、土屋青少年教育係長

若林学校教育係主査

## 会議録

---

### 横関教育次長

ただ今から平成 30 年度第 4 回総合教育会議を開催します。  
はじめに市長、教育長からごあいさつをお願いします。

### 花岡市長

教育委員の皆様におかれましては、3/14、15 に行われた H30 年度市内小中学校卒業式を無事終えることができましたこと、心より感謝申し上げます。

今我が国ではオリンピック、またその後を見据えたスポーツ立国としての確立を図るため、教育とスポーツの関係性が今後の大きな課題になると感じています。スポーツは単なる自己研鑽の場からパラリンピアンから健常者が「尊さ」を学ぶ場などへ多様化しており、人々に及ぼす影響はさらに大きいものへと成長しています。一方、働き方改革を進める中、部活動が教員に過度な負担をかけていることも事実で、教育とスポーツの今後の在り方について、様々な検討が必要と考えています。

### 小山教育長

連日マスコミを賑わしている「虐待」「いじめ問題」について心を痛めております。まずは「子どもの生命を守る」ということを最優先に、様々な対応を心掛けていきますが、行政全体として、安心安全をモットーに子どもたちの生活を守るよう、教育委員会と各部署の連携を図ってまいりたいと考えています。

### 横関教育次長

それでは協議事項に入らせていただきます。  
事務局より(1)東御市教育大綱、東御市基本計画について説明します。

### 柳沢教育課長

東御市教育大綱、東御市基本計画については今年度をもって期間満了を迎えることから、新たに改定を行うものです。2019 年からスタートする新学習指導要領が実施されることを背景に、「これからの子どもたちをどのように育成していくか」の観点から、先ごろ改定された第 2 次東御市総合計画に併せ、施策体系と個別計画を改めました。

教育委員を含む各種関係団体と十分に協議した案をもって、パブリックコメントを行った結果、49 件の質疑、意見がありました。うち 15 件については当案に反映、10 件については今後の参考とすることとします。

横関教育次長

教育基本計画を今後評価していかなければならない中で、総合計画に合わせた体系化を行うことで連動した評価ができるようになることと、今まで含まれていたスポーツ施策をスポーツ基本計画へ一本化したことが大きな見直しです。個別計画については今までの取り組みの中で見えてきた課題を精査し、ICT教育など新たに加えるべき要素を加味し、次の5年間に備える内容としています。

地方教育行政の組織及び運営に関する法律において、教育大綱を変更する場合は総合教育会議において協議を行うこととされています。定例教育委員会や社会教育委員会等で意見集約を行った上で当案を作成しております。

(以降 資料説明)

横関教育次長

異議ありますでしょうか。

全員

異議なし。

横関教育次長

それでは当案を承認とさせていただきます。

当計画を実施していく中で、新たな課題が生じる可能性もありますので、その場合はその都度協議をお願いします。

続きまして議題に入ります。

事務局より(1)学校におけるICT環境整備について説明します。

柳沢教育課長

学校におけるICT環境整備について説明します。

「資料説明」

要旨

・今後3年間に渡る整備機器の状況

小山教育長

全国学力学習状況調査の方法が、筆記からパソコンでの報告に変わってくることから、パソコン機器の更新は必須となります。

花岡市長

第2回総合教育会議においてタブレットの有用性について議論しました。ICT機器は日進

月歩で進化しています。当面はタブレットを中心とした整備が第一選択肢でよいのではないのでしょうか。

小林経明委員

全国学力学習状況調査の方法が完全にパソコンでの報告に変わるには全国的にもまだ猶予があると思いますので、5年間くらいを目途に整備計画を立ててみてはどうでしょうか。

花岡市長

次年度整備を計画している校務用パソコンの整備について詳しく説明してください。

横関教育次長

Windows 7のサポートが満了することに加え、長野県が進める総合型校務支援システムの運用が2020年4月スタートとなっており、それに備えるために、次年度中に校務用パソコンを整備する予定です。

統合型校務支援システムとは、学校の校務や児童生徒の成績管理などを一元管理できるシステムで、教職員の働き方改革の一環としても大きなメリットがあります。

花岡市長

理解しました。

横関教育次長

ICT整備の方向性を確認していただいたということで、以上教育委員会からの議題を終わります。その他議題等ありますでしょうか。

直井委員

いじめや虐待など後の絶たない中、市町村によっては弁護士や警察官OBを雇って対応しているという話を聞きます。渡してはならない個人情報をおどろきに要求する、いわゆるモンスターペアレントにどう対応していくか、教育現場も困っているようです。研修や講習ももちろんですが、複数人で対応するなど具体的な対応策の必要性を感じました。

花岡市長

当市においてもヘビークレーマー研修などを開催していますが、基本的に複数の人間でのクレーム対応を指示しています。11年前の私の就任時に、民間では当たり前であったハインリッヒの法則について、市役所職員に対し研修を行った経過があります。学校現場に見合った研修内容というわけではありませんが、児童生徒をお預かりしている立場から、保護者への対応に慎重にならざるを得ない学校側の苦勞も理解できます。今後は法律に詳しい方を教育委員会に配置しなけ

ればならない時代が来るかもしれません。

横関教育次長

ご意見ありがとうございました。

以上で第4回総合教育会議を閉会とさせていただきます。